

## ベトナムの医療事情

### (3) ホーチミンの医療機関について

ロータスクリニック ハノイ・ホーチミン

院長 白井拓史

今回は、ホーチミンの医療機関についてお話しさせていただきます。最近では外資やベトナム資本の総合病院も出来てきて、徐々にではありますが、ホーチミンの医療環境は改善されてきています。そのような新しい病院は院内も清潔でCTやMRIなどの検査機器も揃えており、外国人の診療も行っています。しかし、まだ重篤な疾患や非常に専門的な診療が必要な場合にベトナム国内では対応できず、バンコクやシンガポールに行ったり、日本に帰国せざるをえないケースがあるのも事実です。

#### 【国立総合病院】

チョーライ病院はホーチミン最大の国立病院です。ベッド数は1,700床。脳外科や心臓外科に定評があります。日本との繋がりも深く、日本の資金援助で改築を行ったり、日本からの技術指導も行われてきました。JICA（独立行政法人国際協力機構）から理学療法士なども派遣されています。昨年10月には、日越外交関係樹立45周年記念事業の一環としてドック健診センターが設置されました。

チョーライ病院の医師の中には日本やアメリカなどに留学していた医師もいます。そのような医師の医療レベルは高いと考えられます。以前、チョーライ病院の医師と日本人の入院患者様についてディスカッションをしたことがありますが、高いレベルの医療知識を持っていました。ただし、病院内の環境は、日本人が受診するにはまだ厳しい状況です。救急外来は患者が溢れ、1つのベッドに2人の患者が寝かされています。先にお金を払わないと検査も入院もすることができません。廊下では床にゴザを敷いて家族が食事をしていたりします。日本人が安心して受診できる環境になるにはもう少し時間がかかりそうです。



<チョーライ病院 外観>



<チョーライ病院 救急外来>

日本人が通常利用している医療機関としては、外資系総合病院、外資系クリニック、日系クリニックがあります。

### 【外資系総合病院】

FV 病院はホーチミン市内にあるフランス系の総合病院です。集中治療室や手術室を完備しており、フランス人医師、ベトナム人医師が診療にあたっています。外国人が手術を受けたり入院することが可能な設備と環境を整えた総合病院です。CT や MRI 検査も可能です。日本人医師はいませんが、ベトナム人の日本語通訳が診療のサポートをしています。最近では、FV 病院で出産する日本人も徐々に増えてきています。海外旅行者保険のキャッシュレスサービスにも対応しています。

ただし、心筋梗塞や脳出血といった疾患には十分対応出来ません。心筋梗塞のケースでは、FV 病院に隣接してホーチミン市のハートセンターがあり、そこで対応可能です。在留邦人で心筋梗塞になって、このハートセンターで救命されて日本に帰国となった方が何人もいます。



<FV 病院 外観>



<病室の一例、衛生環境も良い>



<FV 病院 産婦人科外来>

### 【外資系クリニック】

外資系クリニックでは、ベトナム人医師・外国人医師と共に日本人医師や日本人看護師、日本人コーディネーターがいて対応しています。ベトナム在住の欧米人や日本人、ベトナム人富裕層が利用しています。

日本人医師のいる外資系クリニックとしまして、ファミリーメディカルプラクティス、ラッフルズクリニックがあります。ファミリーメディカルプラクティスは、日本語通訳がいて、日本人以外の専門医に診察して貰うときには通訳をつけて受診することが可能です。日中は日本人医師のいるクリニックでも夜間や週末は日本人はおらず、ベトナム人医師が対応することになります。また、日本人医師が休診で外国人医師やベトナム人医師が診察担当となることもあります。これらのクリニックは、海外旅行者保険のキャッシュレスサービスにも対応しています。



＜ファミリーメディカルプラクティス＞

### 【日系クリニック】

ロータスクリニック・ホーチミンは、2007年にベトナムで初めての日系クリニックとして開院しました。日本人医師、日本人看護師、日本人マネージャーが常駐しており、受付から診察、検査、会計まですべて日本語で対応しています。複数の日本人医師がいるので、必ず日本人医師が診察を担当します。外資系クリニックのように日本人医師の診察を希望して受診したのに、休みで日本人医師に診て貰えなかったというようなことはありません。また、日本人薬剤師もいて薬のチェックや管理を行っています。



＜待合廊下＞



＜キッズルーム＞

院内は日本のクリニックと同様の環境で、日本で近くの医院を受診するのと同じ感覚で診察を受けることができるように配慮しています。心電図、X線、聴力、肺機能、超音波、内視鏡検査などが可能です。院内にラボがあり、血液（血算や生化学）、尿検査なども行っています。日系海外旅行者保険をお持ちの方は、キャッシュレスサービスで受診することができます。健康保険の日本での還付の書類の作成も行っています。



<診察室>



<処置室 採血や点滴などを行う>



<超音波検査、内視鏡検査>



<検査室 血液検査や尿検査などを行う>

**【救急車】**

公共の救急車を要請する時の電話番号は115です。日本語や英語は通じずベトナム語のみの対応となります。また、ベトナムには十分な台数の救急車がないため、到着までに非常に時間がかかったり要請を断るケースもあるので、外国人が使用することは実際には困難です。外資系クリニック・総合病院は自前で救急車を持っていますので、まずはそのような病院と連絡を取って救急車を要請するのが現実的です。



<FV 病院の救急車>



<救急車の車内>

今回は、ハノイの医療機関についてお話しさせていただきます。